

一般質問

・安心・安全なまちづくりについて
・透析患者の治療に対する
しろわクリニックの活用について



小田芳久

問

政府広報によりますと、子どもや女性、高齢者が被害者となる犯罪は後を絶たず、不安を抱く人が少なくありません。本市においても発生事例があります。安心・安全なまちづくりに向けた対策及び防犯まちづくりへの考えを伺います

答

平成22年に防犯まちづくり条例を制定し、青色防犯パトロールや青少年健全育成サポート隊の見守り活動などに関係機関が協働で取り組み、明るく犯罪のない住みよいまちづくりを推進しています。犯罪を少しでも減らすため、広報紙やSNSなどを広く活用し、注意喚起を行うことで、防犯意識の高揚を図ります。

問

お年寄りの特殊詐欺被害を防止するための本市の対応を伺います

答

周辺自治体の取組状況や、警察などの関係機関と協議の上、検討していきます。

問

悪質商法や詐欺の標的になりやすいお年寄りに向けて

問

の注意喚起など、今後の取組について伺います

答

西部管内初となる「御前崎市消費者安全確保地域協議会」を立ち上げ、介護サービス事業者や地域事業者が顔の見える関係を構築し、情報共有を強化すること、地域全体で防犯意識を高め、安心・安全なまちづくりを推進しています。

問

市内の透析患者の42%が市立御前崎総合病院で、残りの58%が市外の病院で透析治療を受けています。しろわクリニックでの透析治療を可能にし、市内の透析患者を市内で治療できる体制づくりを検討できないか

答

しろわクリニックでの透析治療を可能にするためには、医師や専門技師、看護師等の人材確保や、透析専用のベッドや機器の整備、治療スペースの確保などの課題があります。本市としては、透析患者が市立御前崎総合病院をもっと使用していただけるような方策を優先に検討していきます。

一般質問

・歩道の「自転車通行可」標識について
・交差点名標識について



阿形 昭

問

塩原公民館西の交差点から市立御前崎総合病院近くの交差点までの歩道には、「自転車通行可」の標識がありません。高松地区の中学生が自転車で通行する道路で、朝夕は自動車の通行量が多いことから、中学生の安全な通学のために、自転車通行可の標識を設置すべきではないか

答

令和5年度に塩原町内会から要望書をいただき、昨年9月の予算決算審査特別委員会でも同様の意見をいただきました。警察署の所管になることから、現在、菊川警察署を通じて、静岡県警察本部に上申しております。本市といたしましても、子どもたちの安全な通学環境を確保するとともに、交通事故防止に向け、引き続き動向を見守っていきたいと考えています。

問

前述の質問で「塩原公民館西の交差点から市立御前崎総合病院近くの交差点」と言いましたが、交差点名があれば、ずば

答

信号のある市道交差点は、14カ所あります。案内標識を設置する場合、道路標識設置基準という全国共通の基準があります。今後、設置基準や道路利用者の利便性等を考慮しながら検討していきたいと考えます。



市立御前崎総合病院近くの交差点